



あすて・豊竹 プロジェクト

「**枯竹**にたましいを」

枯れた竹に新たな価値を！

「竹ソイル」「竹舗装」「竹チップ防草」の実証

竹ソイル 枯れ竹の活用

竹を微生物の力で分解し 「土の皇帝」 チェルノーゼムを作る

2024年
11月6日～

豊竹ソイルの特徴

- ・ 10年以上かかる竹の分解を数か月で実現
- ・ 有機物の分解に優れる
- ・ 肥料持ち(保肥性)と水もち(保水性)に優れる
- ・ 3～5年かかる土壌改良を短期間で実現
- ・ 土壌生態系が再構築されることで
「農作物の生育が良くなる」
「病害虫への抵抗性が向上」
「収量が増加」などが見込まれる



竹ソイル
製造中



ト野菜残渣は、約25日で完全に分解され、資源化さ
る。おがくずや茶殻・コーヒーがらなど、分解がむづ
かしいものも分解して肥料に変える力があります。

竹チップ
防草として利用



「草HAENDE-A」

「放置竹林問題」を解決しながら
「緑地の雑草問題」の解決

2024年
11月27日～

**草刈り
軽減**

**約5年
防草効果**
追いチップで効果は継続



施工



竹チップ舗装のうれしさ



防草効果



ヒートアイランド抑制



廃棄物の抑制



放置竹林の解決
CO2の固定

竹チップ 舗装として利用

竹チップ舗装 「TAKE a walk」

2025年
2月9日～

トヨタ自動車様の監修
ウッドチップ舗装技術を指導いただき
「竹チップ舗装」を実証



自然由来の
素材

溶出試験(環境省19号/46号)にて
基準値以下を確認済。



廃棄物ゼロ
使用後は破碎し
土壌改良材に

酸化マグネシウムが木材の腐食を抑制。
5年以上の耐久性。

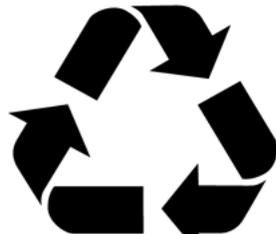
竹チップ舗装のうれしさ



防草効果



ヒートアイランド抑制



廃棄物の抑制



放置竹林の解決
CO2の固定

